



編集発行 第15号
群馬県立桐生工業高等学校
同窓会事務局 編集部
群馬県桐生市西久方町1-1-41
TEL0277(22)7141
印刷 湯浅印刷株式会社

会長挨拶 管見 品質管理 会長池田光二

戦前、MADE IN JAPAN は粗悪品・模造品の代名詞の時代がありました。戦後わが国は、産業の基本は品質と認識し、企業も国民も、品質の向上安定に懸命の努力を重ね、遂に驚異的な経済成長を得ました。品質管理は戦後日本が築いた、世界に誇る文化です。しかし、品質管理や生産第一主義は、全体主義だとか、人の「個性」を消した画一教育だ、という文化人や教育評論家がいきました。品質管理の実態を理解してない意見です。品質管理が全体主義なら、かつての社会主義国の製品品質は高いはずですが、その実体は劣悪でした。ところで、品質管理の前提条件は、仕事に関わる全員が「読み・書き・計算」ができることです。そして基本条件は、「決めたことは必ず守る：人が見てなくても守る」という文化を国民が持っていることです。地球規模で見たとき、「読み・書き・計算」のレベルが高い国は意外と少ないのが実情で、このことだけを取り上げるとアメリカもヨーロッパのほとんども高くはありません。一方、レベルの高い国は中国・韓国・台湾です。ただし、「決めたことは人が見てなくても守る」の文化になると、わたしの経験では、中国は？です。しかし、ここ数年、急速に改まりました。中国経済の躍進がその証明です。躍進は品質の向上でこそ可能です。

しかし、営々と積み上げてきた「品質管理」という日本の文化が、最近あやしくなってきました。それは、「読み・書き・計算」の衰えと、「決めたことは必ず守る」がおかしくなってきたからです。会社ぐるみで不正を隠したり、不良品を出荷したりの事件が頻発しています。この現象は確実に、国の衰亡に繋がります。

わたしたちの「桐工」は、平成16年に創立70周年を迎えます。桐工は工業学校として、国の基本である産業に欠かせない、優れた技術者を世に送り出してきました。今後もこの道一筋のはずです。

同窓会の目的は、「会員の親睦と母校の教育振興に寄与すること」であります。日本の現状と未来を想うとき、さらに優れた技術者の輩出にわたしたち同窓生の責任は重いはずです。創立70周年を迎え、同窓会は、母校の教育振興に一層、力を入れようではありませんか。

校長挨拶 「高校生の就職難に思うこと」 校長菊地丞示

同窓会の皆様にはますます「清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校教育活動に対して温かいご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

不況が続く中、社会的問題となっているのが、高校生の就職難による、未就職者の増加と、折角就職しても数年で辞めてしまう早期離職者問題であります。その理由として「雇用上のミスマッチ」「企業側が即戦力を求めている」などが上げられていますが、もう一つ「人間関係を上手く築けなく、我慢できない若者が増えている」ことも見過ごせません。生徒を送り出す高校側としては、このことを真剣に受け止め「正しい職業観・勤労観を養い」「専門に関わる知識・技術を確実に身に付けさせる」のはもちろん、部活動等の充実を図り「人の関わり方や耐力を養う」ことが重要であると考えます。

初代校長の西田博太郎先生は生徒達に身体を鍛えることの大切さを説きました。このことが、その後のスポーツ学校の異名をとるほど運動の盛んな学校になり、多くの優秀な人材を世に送り出すことになりました。

昨年より、学校週五日制となり、学力低下について盛んに取り沙汰されていますが、もっと心配されるのが青少年の体力低下であると思います。このことを踏まえ、往年のスポーツ学校復活を目指して参りたいと思いますので、今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総会

期日・平成15年6月21日(土)
会場・桐生市市民文化会館
4階 スカイホール

右記、期日、会場において平成15年度同窓会総会が百三十三名の会員にお集まりいただき開かれました。今年是在校生山岳部が35年ぶりに、全国高校総体に出場することを記念しまして山岳部員より競技を説明する「登山大会報告会」を含め、会が行なわれました。

総会議事は議長池田光二会長により進行され平成14年度事業報告・会計監査報告・支部活動状況報告を始め、平成15年度事業計画案・予算案・役員変更案の議案が次々と承認されました。また、今年

開校記念講演

演題「桐工を卒業して40年たって」

講師 桜井隆志先生 (昭和38年 電気科卒)



本校卒業後、桐生市内の中学校教諭や青年海外協力隊としてエルサルバドルにおいて活躍され、又、現在も群馬県前橋市にある育英短期大学の学長として勤務されている右記桜井先生をお招きし5月1日(木)の開校記念日に講演会が桐工体育館で開かれました。

学生時代に長距離選手として陸上競技を続け障害三千mで国体に二度、出場の実績を残した先生は講演で思い出のスライド写真を交え当時の様子を振り返ると共に自らの経験を語り後輩にエールを贈りました。



昭和18年機織科を卒業されて現在「セイコー時計資料館」名誉館長を務める久保田浩司先生より時計にまつわる講演を頂きました。

総会2部 記念講演会
セイコー時計資料館
問い合わせ
〇三三六〇一六二四八

県外支部だより

関西支部

昭和34年紡織科
鮎子 田善一

私は定年退職後、縁があり大阪富田林地区の保護司を拝命し、現在十一年目を勤めております。この間、少年少女・成人の様々な罪を犯した人達の更生に係わって来ました。事件を起した背景には色々なことがある訳ですが、最大の影響を与えるのは親の訓育・子育て・躾・監督ではないかと強く感じます。事件が起る毎に社会が悪い、テレビが悪い、学校が悪いと指摘されますが異を唱える一人です。知育のみを重視、徳育が軽視され、その負の集大成が、子供を叱れず、躾も出来ず、自由放任を自由主義社会と誤解する親を生み出したのではないのでしょうか。三ツ子の魂百までの例えの如く、道徳教育の充実こそ、青少年の凶悪犯罪抑止になると信じてこの頃です。

二年前、日本の将来を担う子供達の健やかな成長を願って「NPO社明」を結成。現在三十名強の小さな組織ですが時間のなさを嘆く日々です。(写真左より2人目筆者)



埼玉支部

昭和23年色染科
松下 倅也

平成十四年度の埼玉支部活動は、より多くの会員の参加を目標に支部行事を企画実行した。

先ず第一・二回支部ゴルフ大会を五・八月に開き、十一月八日に秋季旅行会を、歴史的観光地奥秩父で開催した。観光組と第三回支部ゴルフ大会組とに分かれて共催し、計十二名で大平洋セメント有恒クラブに一泊し

中部支部

昭和32年紡織科
蛭間 章雄



ゴルフ場の人間模様
高校を卒業し、大手繊維会社の関連企業の紡績会社に就職して三十三年が経った平成二年の時でした。思いがけない仰天する話が飛び込んで来たのです。

それは、ゴルフ場を開発する為、プロジェクトの一員としての参画要請でした。畑違いとはいえ培ってきた己の技術と能力を試すチャンスと思い転職を決意しました。今回はゴルフ場で遭遇した人間模様的一端を御紹介致します。

ゴルフ場には様々な来場者があります。その中で特に印象に残った方を紹介します。元巨人軍の川上監督は温厚な紳士で腕前も一流。プロゴルファーの森口裕子はキャディ出身だけあって従業員に対する思いやりは抜群。阪神の星野監督はシーズン中はゴルフをやらない模範生(ハンディ2)。最後は三笠宮寛仁親王殿下、腕前はシングル、マナーは最高、お目にかかれて光栄でした。ゴルフ場での話題には事欠きません。またの機会にお伝えいたしましょう。(写真中央が殿下、左端が筆者)

静岡支部

昭和28年機械科
松村 元夫



月日のたつのは早いもので、静岡支部が設立して7年目となります。会員も定着して、22名のメンバーです。本年4月6日には、第7回定例総会を池田会長、菊地校長、関西支部の宮根事務局長、中部支部の山崎副支部長、そして百海事務局長を迎えて、風光明媚な日本平ホテルにて盛大に開催致しました。今総会には、嬉しくも2名の初出席者があり、眼下に駿河湾を眺め、霊峰富士を仰ぎみての有意義な総会となりました。県内の会員の皆様と接する機会が少ないので、年一回の総会にはより多くの会員の皆様の参加を心懸けていきたいと思っております。そして、まだお会いしていない会員の方に、今後の諸行事に参加して頂ける様、いろいろと企画していきたいとも思っております。最後に、私共の隣県である山梨、長野県の卒業生を対象に、先輩の大澤相談役の指導を受けて、卒業生名簿から、同窓会の設立のご案内をさせて頂きました。設立までには当地の諸事情もあろうかと思いますが、出来る限りの応援もしてまいりたいと思っております。

懇親会

て懇親会を持った。懇親会は深夜まで懇談やカラオケで花が咲き懇親を深めた。

翌九日は参加者全員で秩父市内を観光し、会員自らが手打ちしたそばで昼食を楽しみ、天候にも恵れて秋の秩父を全身で満喫する事が出来た。本年三月十六日には第十一回支部総会を昨年と同じ旧大宮市ゆの郷で開催した。桐生より菊地学校長・池田同窓会長並びに百海事務局長計

三名の

ご出席を仰ぎ、学校・同窓会の活動状況の報告を頂いた。東京在住の2名の特別

会員を含め総計十七名での総会で昨年に比べ出席者は少なかったが、発言の多い賑やかな楽しい支部総会を持つ事が出来た。又とうらい埼玉十八・十九号の発行並びに本部同窓会総会へ計七名、本部ゴルフ大会計へ六名が当支部より参加した。



会員トピックス

- 桐生商工会議所、第11代会頭に佐藤電三第5代同窓会長が就任されました。つきまして、同窓有志による就任祝賀会を去る6月15日桐生ブリオパレスにおいて49名の出席者を迎え開催しました。
- 関西支部設立十周年に感謝の意を表し同窓会より支部の設立と運営で大変お世話になった非破壊検査(株)山口多賀司会長および非破壊検査サービス(株)宮根賢毅社長に感謝状と記念品を贈呈しました。
- 叙勲、厚生労働大臣表彰受賞者の紹介
 - ☆ 勲四等旭日小綬章 昭和27年機械科 小倉康男氏
 - ☆ 勲四等瑞宝章 昭和23年機械科 加藤隆司氏
 - ☆ 勲六等単光旭日章 昭和29年紡織科 影澤政喜氏
 - ☆ 昭和20年紡織科 小林 清氏
 - ☆ 昭和20年電気科 山本修平氏
 - 行政でご活躍される方々の紹介
 - 市議会議員(卒年順 敬称略)
 - 蛭間利雄(26M) 中村 清(33M)
 - 細谷昌弘(34W) 佐藤光好(35W)
 - 岡部純朗(37W) 幾井俊雄(38W)
 - 森下清秀(40W) 近藤健司(59E)
 - 県議会議員
 - 大澤幸一(37W) 腰塚 誠(41M)
 - 太田市議会議員 川鍋 栄(45A)
 - 大岡々町 須永榮治(26W)
 - 笠懸町 藤生吉雄(31W)
 - 黒保根村 星野一夫(47E)
 - 春日井市 蟹江光正(35M)
 - 京都府 原田 完(44D)

*W(紡織)D(色染)M(機械)E(電気)A(建築)を称す

市内近接支部だより

第四・五支部

昭和34年色染科
田村泰信

今年も5月26日支部設立以来五回目の支部総会が地元「鳥道」に於いて本部より四名御来席頂き合わせて26名で支部総会が開催されました。司会、新会計の須田滋(46D)氏が始まり大沢支部長の挨拶が有り同窓会初代会長、顧問、朽津房次郎様のH15・4・6ご逝去に黙祷を捧げ冥福を祈りました。続いて、池田会長、八木橋副会長の挨拶があり池田会長の挨拶の中で同窓会の目的・意義また学校の近況報告等の話がありました。また、今年も選挙の年であり同窓生にも眞議・市議・町議と多数の方々が当選された報告と説明がありました。我が支部からも4月13日の選挙で第四・五支部の大沢幸一支

部長が県議会議員に初当選されました。つきまして、総会の中で大沢氏は新顧問になりましたので役員改選により皆様から承認を頂き私が新支部長という大任をおつせつかりました。その他の人選については新支部長に一任することとした。以上の流れで総会はその議事も進行され終了し、続いて恒例の同窓会常任幹事の小林先輩の発声で懇親会に入りました。今回は特に40・60年度卒業の後輩も加わり和気相合のなか非常に楽しい一時を過ごし、新井一博(39W)氏の伴奏で校歌を声高らかに歌い最後に村田副会長の締を兼ねた閉会の挨拶があり盛会の内に総会、懇親会が終了しました。追伸、微力ですが支部発展の為全力を傾注して参りますので諸先輩方々はじめ会員皆様のご協力ご指導を切にお願い致します。

第十二支部

昭和20年紡織科
高橋定二郎

暦の上では立秋も過ぎ朝晩めつきり秋の気配がただよう今日この頃であります。第12支部総会を去る八月三十一日に広沢一丁目集会所において開催致しました。参加人員三十八名であります。日頃は桐雷の配布のみお願い致しておりましたが、今度の総会には多数の参加をして下さりまして旧交を暖め和気あいあいのうちに会の進行が出来ました。先ず最初に、平成十四年度事業報告、会計報告、監査報告等を行い、続いて意見交換を行い、主な意見としては、最年長者と最若年者との年齢差が大き過ぎるのでこれを一にまとめるのが大変であり役員若返りをはかっただらうか、次にゴルフ関係では、支部内で競技会を開催したらどうか、又趣味の会等々諸々意見等が出されました。これらの意見を参考にし、次回総会の研究課題として閉会を致しました。

第十四支部

昭和28年紡織科
大川敏男

平成13年10月より、先代田中先輩より引き継ぎました。又支部の役員協力のものと活動を、継承して参ります。なかなか地元にいる人が少なく連携、運営することが難しいと思われまます。14支部に於いては常任幹事の席が空いております。役員総会を6月に持ちましたが決定にいたっておりません。今年中には選考し同窓会の運営に支障の無い様努力いたします。

私、在学中、昭和27年夏のインターハイに於いて優勝したハンドボール部の一員です。その節は、同窓会の皆様には大変お世話になりました。今、同窓会顧問の小川先生が部長、監督が池田清先生でした。

当時のエピソードで優勝した晩に宿泊したため30人の大所帯の帰りの電車賃が底をつき、先生方が大変ご苦労し大阪にいる教え子(先輩)にお金を拝借した思い出話がありなつかしく思っています。先輩の方々、部長、監督先生の温情に対して心より感謝いたします。

第十五支部

昭和26年紡織科
松井賢一

川柳の「首」と言う席題に「監督の首を一夜ですげかえろ」の句を作った。勿論プロ野球の世界の話であるが、十五支部の支部長としての鈍い動きの心境にも相い通じるものがある。平成元年支部総会により設立した十五支部も、設立時を含めて三回しか支部総会を行っていない。然も千名という会員を抱えていながら、二〇名内外の出席者が頭を悩ます問題である。

「窮すは通ず」一案が閃めいた。同じ相生町の十八支部との合同総会である。過日十八支部の役員の方々に打診・内諾を得て、九月に両支部役員が話し合った結果、十五年十一月二十二日、合同総会を開催する事に決定した。

合同総会は余り前例のない事ですが、失敗を恐れず、前向きに進めていく次第です。

第十六支部

昭和32年紡織科
星野昭治

リフレッシュな旅
「旅は道連れ・世は情け」を満喫する年代を迎え人恋しさが同好者を募り年二回程多方に旅行をしております。卒業してからある時期まではクラス同窓会、還暦を迎えた時に卒業年度同期での一泊同窓会を開催多数の参加者とともに学舎での青春時代を思い起こし母校の懐かしき話しに花を咲せ、そして「生き生き人生の」源に出来ればと続けています。広大さに惹かれ北海道へ数回の旅、南国からめ



んそーれの沖縄、伝統の幾重塗り漆器、色鮮やかな丸谷焼、大型産地産地の北陸の旅を重ね色々な効用の場に浸かり地酒を飲み交わしながら研鑽と心身ともにリフレッシュに努め次回の再会を誓い合う旅行を展開しております。

親善ゴルフ大会

本年も遠方より参加の中部・埼玉支部の方々を含めて150名の参加者が競い平成15年8月27日(水)桐生C・Cにおいて第12回親善ゴルフ大会が行なわれました。

大会の型式は例年同様、支部対抗がメインでした。各参加者が支部のため日頃磨かれた腕を発揮し熱戦を繰り広げ大会は盛大に終了いたしました。

●団体戦

優勝	笠懸支部	365.8
準優勝	大岡々	368.0
三位	十六	368.6
四位	十二	370.6
五位	数塚	370.8

●個人戦

優勝	新井理治(笠懸支部)	70.2
準優勝	高松理祐(加藤鉄工)	70.4
三位	石関隆一(十二支部)	70.6
●一般部門	ベスグロ賞	
●シニア部門	ベスグロ賞とニアヒントドラコンの3冠	
遠坂伸司(第四・五支部)	84	
新井理治(笠懸支部)	75	



優勝・ベスグロの新井理治氏

学校だより

ガンバル桐生生たち

近年、学業・スポーツで活躍した生徒がマスコミ（桐生タイムス）で紹介されています。その一部を掲載します。

H15.8.12



桐工自動車部 雪野に燃える

桐生工業高等学校自動車部は、16日秋波大会に出場し、雪野に燃え、好成績を挙げた。...



ジャンボパレードで披露

ジャンボパレードで披露された、桐生工業高等学校の文化祭の様子が、このページで紹介されている。...

H15.7.18

現場に足運び 詳細図面づくり



H15.9.20

アウトドア部 山岳の部、総体35年ぶりに全国大会へ

顧問 塩野入浩二

全国高校総体・登山大会が8月8日から11日までの3泊4日で長崎県・雲仙山系周辺の山域で行われた。4日間好天に恵まれ今回は気分良く山行できた。...



1日体験学習開催 近隣中学生対象

委員 岡部政雄 今年の一日体験学習は八月二十二日に行なわれました。①機械、電気コース、②建築、土木コース、③染織デザインコースの三つのコース設定で、申し込み時にコースを決めてもらいました。...

部活紹介

硬式野球部 顧問 城田純一

四回戦の高崎工を4対0の完封で下し、久しぶりのベスト8入りを決めると桐工ナインに笑顔が戻った。今思えば「古豪」「伝統校」などと周りから言われ生徒達も力以上の事を周辺や指導者から要求され非常に辛かったと思う。...



桐生工

事務局だより

同窓会顧問（初代同窓会長）の朽津房次郎様（14D）が、平成15年4月6日ご逝去されました。...

新常任幹事 (増員) 田村 満氏(全日制教頭・在任期間中顧問) 新支部長 田村敬雄氏(39M) 事務局長 田村泰信氏(34D) 大沢幸一氏の後任 櫻井孝雄(退職)、丹羽政文(伊工へ転出) 実行委員長 村田永昌氏(副会長)

編集後記

今年は統一地方選挙があり多くの同窓生が議員に当選され今後のご活躍が期待されます。しかし、桐生広域が太田桐生を中心とした中核都市への合併、桐生競艇撤廃等大変多くの問題を抱え地方誌を賑わせております。...